

選び放題時代! 小型モジュール& iPhone で試して合点!

高性能カメラ探偵団

第3回

評価項目：モノや人の見映え…重要な定性的ポイントを押さえる

チャート：一般被写体

エンヤ ヒロカズ



図1 モノや人を写したときの見映えが定性的に評価できる一般被写体チャート

<http://www.cqpub.co.jp/interface/download/contents.htm>からダウンロードできる

今回は一般被写体チャートの使い方を解説します。カメラのテストをしたいとき、被写体として部屋の風景を写したり、手持ちの置物を並べて撮影したりする

表1 一般被写体チャートの評価項目チェック・リスト

番号	分類	注目する部分
1	解像度	毛糸1本1本の細かさ
2		金属光沢の細片の細かさ
3		花、葉など植物の細かさ1
4		花、葉など植物の細かさ2
5		人形の髪の毛の細かさ
6		糸の目の細かさ
7	色再現	折り紙の色再現
8		プラスチック素材の色再現1
9		花や葉の色再現
10		色鉛筆の色再現
11		プラスチック素材の色再現2
12		金属光沢のある缶の色再現
13		人形の肌色の色再現1
14		人形の肌色の色再現2

場合がよくあると思います。しかし撮影のたびに異なる被写体になったり、自分の部屋を写した画像を配布したりするのは、ちょっと気が引けてしまいます。そういうときのために、さまざまな被写体の特徴的な部分を集めた、一般被写体チャートがあると便利です。

なお、一般被写体の指標の数値化は非常に難しく、また、たとえ数値化できたとしても、被写体に依存した指標になってしまいます。そこで今回は、画像の中で見るべきポイントや定性的、官能的に見る方法について解説します。

撮影の準備

● 使用する一般被写体チャート

一般被写体チャートを図1に示します注1。画像外側の画枠はグレー・スケール・チャートと同じように4:3にしており、画角を合わせやすいようにマークを入れてあります。チャート部分は実際に被写体を配置して、

注1：前回(2016年6月号)の付録にした。前回はコラムで紹介。

番号	分類	注目する部分	
15	高輝度 下での 映り具合	プラスチック素材の高輝度部分1	
16		ガラス素材の高輝度部分	
17		金属光沢細片の高輝度部分	
18		光沢のある陶器の高輝度部分	
19		光沢のある陶器とビニール素材の高輝度部分	
20		金属球の高輝度部分	
21		プラスチック素材の高輝度部分2	
22		金属光沢のある缶の高輝度部分	
23		塗装した木材の高輝度部分	
24		低輝度 下での 映り具合	人形の髪の毛の暗い部分
25	暗い色で塗装した部分		
26	暗い色の素材		
27	ノイズ		グレー部分のノイズ
28			色飽和度の高い均一の素材のノイズ
29			陶器の均一部分のノイズ
30		人形の肌色部分のノイズ	
31		光沢のある陶器のノイズ	